

事業番号	10 09 10	事業改善シート (26年度実施事業分)			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	世界に誇る信州の農村景観育成事業費				担当課	部局	建設部	
						課・室	都市・まちづくり課	
総合5か年計画	プロジェクト	2-1-2 農山村産業クラスター形成プロジェクト 6-3-1 誇りある暮らし実現プロジェクト			E-mail	toshi-machi@pref.nagano.lg.jp		
	施策の総合的展開	2-1 魅力ある地域の創造と発信 4 次代につなぐ景観育成の推進			実施期間	H24 ~		

1 事業の概要

目指す姿	美しく豊かな農村景観を次世代に継承していくために、①持続的な農林業により農村景観の基盤となる農地・森林が良好な状態に保たれること、②県民が「信州らしさ」や「ふるさと」を実感できる風景づくりを進めて魅力を高めること、③その魅力を内外に発信することで都市との交流や観光を展開し、持続性のある農林業の発展につなげること、の相互間に好環境を創り出し、持続的な農村景観の保全・育成が行われることを目指す。		
現状 (予算編成時)	○平成25年3月に「農村景観育成方針」を策定 ○上記方針に基づき、「ふるさと信州風景百選」の風景写真を募集中 (H26.4末まで) 平成27年度に百選の冊子刊行及びホームページ開発を行い、積極的な情報発信を図る。 ○ビューポイント整備事業により、地域の視点場整備支援を実施 (H25年度:10か所)		
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】 県農村景観育成方針に基づき、県は広域的な農村景観の保全育成のための施策を実施する必要がある。	
	県民との協働による実施: 実施中		

成果目標・事業内容	① 成果目標 (H26)					
	○百選ホームページアクセス数:ホームページ開設は平成27年度予定のため、平成26年度は目標設定なし ○風景の「語り部」育成事業参加者数:85人					
	② 事業内容 (単位:千円)					
	項目	実施方法	H26事業実績			
			H26 (当初)	H26 (決算)	H27 (当初)	
1 ふるさと信州風景百選	直接	百選の選定及び冊子の刊行、ホームページの作成		1,100	3,093	270
2 風景の「語り部」育成事業	直接	風景の「語り部」育成研修会の開催 (2回)		192	65	263
3 ビューポイント整備事業	補助金	ビューポイント (視点場) 整備費用への補助 (8か所)		3,000	2,384	3,000
			合計	4,292	5,542	3,533

事業コスト	区分 (単位:千円)	24年度	25年度	26年度	27年度
	前年度繰越	0	0	2,099	0
	当初予算	6,303	6,807	4,292	3,533
	補正予算	0	0	0	
	合計 (A)	6,303	6,807	6,391	3,533
	一般財源	4,303	6,807	6,391	3,533
	県債	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0
	その他	2,000	0	0	0
	決算額 (B)	5,234	4,318	5,542	
概算職員数 (人)	1.00	1.00	1.00	1.00	
概算人件費 (C)	8,258	8,258	8,258	8,258	
概算事業費 (B+A+C)	13,492	12,576	13,800	11,791	

成果目標の達成状況					
項目	H25末 (実績)	H26			H27 目標
		目標	成果	達成状況	
風景百選の選定	-	100か所	103か所	達成	-
「語り部」育成事業参加者数	-	85人	104人	達成	-
百選HPアクセス件数	-	-	-	-	500件/月
ビューポイント整備箇所数	-	-	-	-	10箇所

目標に対する成果の状況	平成26年7月に「ふるさと信州風景百選」を選定した。また、風景の「語り部」育成研修会を開催し、事業への参加人数は104人と、いずれも目標を達成している。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	平成26年度に選定した「ふるさと信州風景百選」について、平成27年度にホームページを開設し、積極的な情報発信を進める。また、平成26年度に景観リーダーを対象に実施した風景の「語り部」育成事業については、より実践的な育成を進めるため、平成27年度から地方事務所単位で育成研修会を開催する。平成28年度以降は、上記事業の成果を受けて、育成方針に基づく更なる事業実施を進め、持続的な農村景観の保全・育成を図る。